



Q 検診でPSA高値を指摘されました。前立腺がんですか？

回答：市立貝塚病院

副院長兼泌尿器科部長 加藤良成 医師



▲PSAとは前立腺特異抗原のことで、

いろいろな病気が考えられます。

がら、がんが非常に小さい場合は針がうまく当たらなくて、

前立腺の病気以外では上がりません。ただし、がん以外でも前立腺肥大症、前立腺炎等で上がることがあります。前立腺肥大症でPSAが上昇している方は持続

PSA高値で受診された場合に肛門から指を入れて前立腺に硬い部位がないかを調べ、PSAがさほど高値でない場合には3カ月後にPSAを再検査します。が

場合がありませう。そこで生検が陰性であっても以後継続的にPSAを測定し、PSAが漸次上昇するならば、再生検を行う必要があります。

前立腺がん以外でもPSA値が上昇する場合も

的にPSAが高値を示しますが、継続的に増加していくことはありません。また

これらの検査を行い、がんの可能性が高い方には会陰部から針で細胞を採取する経会陰的前立腺生検を行い最終診断に至ります。しかしな

以上のようにPSAは非常に鋭敏な検査ですので、高値と言われても怖がらずにまず受診していただくことにより、かえって安心が得られる場合があります。

前立腺炎で上昇した場合には、かなり高値を示すことがあります。数カ月後には正常値に戻ります。つまりPSA高値だけでは、がん以外に

問 072・422・5805 市立貝塚病院 (貝塚市堀3-10-20) <http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>